

野村いくよ 市政報告だより

No.31
2022.8.19



一般質問（6月21日）

すべては子どもたちの今・未来のために…

今年の夏は梅雨が短く、梅雨明け後に大雨が降り、枚方市では土砂災害などの被害はないようですが、大きな被害を受けられている地域の皆様にはお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も少しは落ち着いてきたかな、と思っていたら、第7波にはいつているとのこと、この夏は祇園祭などが行われましたが、新型コロナウイルスの収束はまだに不透明です。さて、日頃は、私野村いくよの活動へのご理解、ご支援に心より感謝申し上げます。

私は、直近の選挙からSDGsのとりくみを推奨してきました。枚方市がSDGsの達成をめざす機運の醸成ととりくみの推進を図るため、市民、学生、事業者などの主体的な行動や連携を促進する仕組みである「枚方市SDGs推進登録制度」を創設しました。人権重視性を有するSDGsにとって「誰ひとり取り残さない」は必然であり、それを踏まえつつ自治体としてSDGs達成に向けたとりくみを展開していかなければならないと強く思っています。

7月は第26回参議院議員選挙がおこなわれました。立憲民主党大阪府連としては、遅れての候補者擁立となりましたが、多くの方の協力も得、選挙のとりくみを進めることができました。ご支援いただいた皆さんには心から感謝申し上げます。現職の維新二人、自民、公明とカジノ推進派が議席を続けて獲得し、全国比例では、日本維新の会が大幅に票を伸ばしました。

参議院選挙中に安倍元首相が銃弾に倒れました。テロであるとか、民主主義に対する挑戦だとか、今回の事件はそういうことではありません。もちろん暴力で命を奪うことは絶対にあってはならないことです。真っ先に思ったのが、赤木さんのことでした。モリカケ問題、桜を見る会などすべてが闇に葬られようとされています。国葬なんてありえないと思っています。

この国はどこに向かおうとしているのでしょうか。来春は統一自治体選挙があります。先の枚方市教職員組合の定期大会において、6期目の挑戦をする私に推薦決定していただきました。へこんでいる場合ではありません。理不尽なことには、しっかりと声をあげていかなければならないのです。

平和と民主主義をあきらめずに、つながる人々とともに、新たな一歩を歩み始めましょう。

野村いくよの 活動日誌 (抜粋)

おもな活動を記載しています / Facebookもやっています

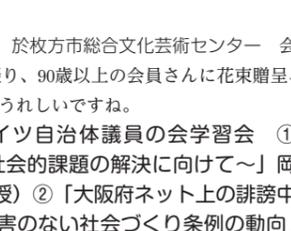
野村いくよ公式ホームページ URL:nomura-ikuyo.com/

4月

- 2(土) 第13回煙突山さくらまつり 五常校区コミュニティ協議会主催
- 10(日) 立憲アカデミーイベント 枝野前代表「ポトムアップの政治とは」自治体議員の役割がよくわかる内容でした。
- 17(日) 五常校区コミュニティ協議会総会 於五常小学校体育館 3年振りの顔を合わせたの総会、顔が見える関係づくりやっぱいいですね。高橋沙都 春の午後のコンサート クラシックギターの音色が素敵で、教え子の故東さんが歌う「みんながって みんない」も素敵でした(^^)
- 23(土) 有元幹明さんを偲ぶ会 於アートホテル大阪ベイタワー 有元さんの活動範囲の広さに尊敬
- 25(月) 枚方退教女教しおん会総会 於枚方市総合文化芸術センター 会員が集まったの総会も3年振り、90歳以上の会員さんに花束贈呈、元気に参加されていることがうれしいですね。
- 28(木) おおさかヒューマンライツ自治体議員の会学習会 ①「SDGsと人権～貧困や社会的課題の解決に向けて～」岡島克樹(大阪大谷大学教授) ②「大阪府ネット上の誹謗中傷および差別等の人権侵害のない社会づくり条例の動向」人権をベースにする学習会にパワーもらっています。連合大阪北河内地区メーデー 於枚方市総合文化芸術センター 連合の組合員さんたちはリモート参加、無人の客席にステージから挨拶しました。



煙突山さくらまつり（4月2日）



有元さんの活動範囲の広さに尊敬

5月

- 3(火) 憲法集会 大阪総がかり集会 於扇町公園 孫も一緒に、ふえみんの皆さんと共に天満駅前でスタンディングも
- 4(水・祝) 京都つながるフェス 於キャンパスプラザ 参議院選挙全国比例に出馬予定の辻元清美さん福山哲郎さん、枝野幸男さん3人の京都での四条河原町、京都タワー前での街宣行動、最後は京都キャンパスプラザでのフェスに参加。大阪府退職教職員の会総会 参加人数を絞っての開会、この総会で府退職初の女性会長誕生と聞きました。
- 12(木) 第1回立憲アカデミー 時代のみちづくり 講師 橋本淳司さん 水に係る深い学びでした。
- 13(金)~17(火) 2022年開会議会
- 14(土) 第1回立憲アカデミー 講座「水循環・水危機、気候変動時代のまちづくり」講師 橋本淳司さん
- 19(木) 連合北河内地域政策・政治フォーラム第8回総会 於ホテルモントレーラースール大阪店 3年



憲法集会（5月3日）



T-SITE前（5月4日）

- 振りの総会及び懇親会 久しぶりに食事をしながらの交流楽しかったです。
- 21(土) 立憲民主党大阪府連勉強会 在日本大韓民国大阪府地方本部との意見交換 民団の方との交流は初めて、さらに視野を広げていきたいです。豊田勇造with仲豊夫チャリティコンサート 於ワークショップ 虹では、みんな一緒に音楽を楽しみます。楽しい時間と空間です。「改ざん」(森友問題)という歌に鳥肌立ちました。
- 22(日) 五常校区コミュニティ協議会 自治会長・専門組織責任者号校研修会 於五常小学校体育館 枚方退職教職員の会 かさざぎ会総会・会食懇談 お弁当を食べながらの近況報告、健康についてのお話が多いけれど、お会いできることが嬉しいですね。
- 27(金) 枚方市教職員組合定期大会
- 28(土) 大阪府退職女性教職員の会第55回定期総会

6月

- 5(日) 立憲民主党大阪府連2022フォーラム 於ホテルニューオオタニおおさか
- 9(木) 枚方寝屋川消防組合議会
- 11(土) 連合大阪2022政策実現決起集会 於アートホテル大阪ベイタワー 大阪教組女性部大会 第2回立憲アカデミー大阪 小川淳也政調会長を迎え、講義の後には、なんば高島屋前で青空対話集会。石田予定候補者も参加
- 21(火) 枚方人権まちづくり協会総会・交流会 議会のため、総会には参加できませんでしたが、交流会には参加し、久しぶりに会う方と話が弾みました。
- 22(水) 枚方教組女性部大会 アットホームな雰囲気の中で発言も行われ、大会があることに感謝でした。この日は参議院選挙公示日、思ったより早く大会が終わったので、車で事務所まで。さあ、7月10日まで、ただただ走るのみです。



なんば高島屋前（6月30日）

7月

- 4(月) 連合北河内街宣 於枚方市駅周辺 大西選対委員長の応援での街宣・星空対話集会
- 10(日) 投開票日 ご支援、ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。午後8時過ぎには、大阪選挙区では、現職の4人に当確が出され、残念な結果に。にわかには政党要件を満たす党が乱立し、野党への票が分散されたこともあり、反自民の受け皿が立憲ではないこともわかりましたが、全体が右傾化しているように感じています。GFH学習会 地方創生のSDGsカードゲーム 楽しく盛り上がりました。日本女性会議2022の申し込みも行いました。
- 11(月) 第50回消防救助技術近畿地区指導会出場に伴う訓練披露(水上の部) 於枚方東消防署 コロナ禍で2年中止、基本泳法、溺者搬送・救助、人命救助を披露。指導会ではよい結果が出ますように……
- 24(日) 大阪教組女性部夏期合宿 於たかつガーデン ①学習会「性虐待と『生命の安全教育』」西澤哲さん(山梨県立大学教授) ②性の教育について実践交流 有意義な交流でした。

8月

- 4(木)~6(土) 原水禁広島大会 3年ぶりの大会参加です。
- 9(火) 大阪広域水道企業団議会
- 第1水曜 府連ジェンダー平等推進委員会
- 第3土曜 府連役員会・常任幹事会



総がかり集会（3月9日）



ウクライナ募金（3月26日）



古賀ちかげさん当選おめでとう！

号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

2022 夏号
号外
立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-12-4 ふじビル3F
電話 03-6811-2301
https://cdp-japan.jp/

5月開会議会 5月13日～17日

2022年度枚方市議会会期は、2023年4月28日までの351日です。

私は、総務常任委員会委員、枚方寝屋川消防組合議会議員（議会運営委員会副委員長）、7月1日より大阪広域水道企業団議会議員を務めることになりました。

総務委員協議会 5月27日

○枚方市人権尊重のまちづくり基本計画（案）が提示されました。

学校等における人権教育の重要性が強調されています。一般質問でとりあげました。

6月定例月議会 6月10日～6月24日

○枚方市渚西臨時保育室が新たにオープン（10月より）

サダ西臨時保育室に引き続き2室目になります。年度途中の転入や育児休業明けの保育ニーズに対応、認可保育所を第2希望まで申し込んでいたが待機となっている場合など、保育所等への入所までの間一時的に利用できます。

一般質問を21日に行いました。会派内では最後なので、残った時間38分フルに使わせていただきました。

① 学校へのエレベーター設置について

12月定例月議会でもエレベーター設置促進を提言しましたが、枚教組委員長・書記長と表敬訪問した時、教育長が「やはりエレベーター設置は重要である」と言われたので、それでは！と思い、引き続き早期に整備方針の作成を求めました。

② 新型コロナウイルス感染症に関わっての障害者支援について

Q

障害者グループホームにおける新型コロナウイルス感染症発生時の事業所の対応について聞く。

A

国の事務連絡等で示されている通り、医療機関との連携体制の確保、支援できる人員体制の確保、生活空間等の区分けなどについて対応できるよう事前に検討すること。市独自の支援策として必要に応じて衛生品等の配布。

要望

グループホームを「生活の場」として安心して暮らすことができる取組をすすめると同時に、国に対しても必要な要望を行うよう求める。

（厚労省の求めは、小規模な生活空間であるグループホームで実施するのは非現実的であり、感染拡大防止のためにも抜本的な対策が求められます。解決すべき課題があるにもかかわらず、国ではグループホームについて、新たな類型を創設して、利用期限を区切るなど制度変更を検討しているので）

③ 全国水平社創立100周年について

Q

人権尊重のまちづくり基本計画で、部落差別解消に向けたとりくみの考え方を聞く。

A

計画の中でも重要課題と位置付けている。継続した人権教育や様々な場面における人権啓発が重要。関係機関・関係団体と連携を図り人権施策の推進にとりくむ。

④ 枚方市人権尊重のまちづくり基本計画（案）について

(1) 人権教育の推進について

要望

特に「女性の人権」に関わり、教育委員会としてジェンダー平等教育に関する基本方針の作成、教職員自ら人権感覚を磨き、児童生徒がジェンダー平等について正しく理解でき、実践できる教育を企画・実施することを要望。

(2) 外国人の人権について

要望

相談や交流等できる居場所、地域や学校と連携して、訪日客も含む外国にルーツがある人たちが安心して枚方市で生活できる環境整備等が必要。そのためには「観光」という冠ではなく国際化政策等を担当する部署の必要性を強調。

⑤ 枚方市の支援教育について

Q

- 4月27日付け文部科学省から「特別支援学級及び通級による支援の適切な運用について」の通知を受け、大阪府教育庁の説明を受ける前に、なぜ学校や保護者に支援教育の見直しを通知されたのか。
- 保護者への説明会に参加できなかった方たちには、質疑応答部分の動画配信はしないとのこと、そこがより知りたいとの声があるが、どのように寄り添うつもりか。
- 「ともに学び ともに育つ」理念は引き継ぐと言われているが、支援学級での授業時間数に伴う「適切な学びの場への変更・見直し」が大きな変更点と認識している。教育委員会の考えは？
- 児童一人ひとりにとっての教育的ニーズに応じた適切な学びの場とは、だれがどのように判断するのか。
- 「ともに学び ともに育つ」インクルーシブ教育についての教育長の考えは？
- 支援教育としての本来の役割の一部が置き去りにされているとは具体的には？また誰にとってのより良い支援教育をめざすのか。

要望

画一的な時間配分ではなく、柔軟に一人ひとりのニーズに合った支援を行うべきであり、子どもたちを主体に考えるべきであると意見を述べ、先人が枚方市で培ってきた「ともに学び ともに育つ」教育を壊さず、今後の支援教育のあり方について再検討を求める

新しい支援教育について

4月27日付文科省の通知を受け、教育委員会は、校長会でプリント2枚を配ることによって、来年度から枚方市の支援教育の見直し（以下の内容）をおこなうことを指示しました。

現在支援学級での授業時数 1日1時間以上を
支援学級での授業時間数 1日2～3時間以上 週の半分以上にする
通級指導教室での授業時間数 週に1～8時間とする
6月末には、来年度どちらを選ぶかを定めること

ビックリするのは、支援学級に在籍している保護者一人ひとりにちゃんと説明すべき内容であるにもかかわらず、プリント2枚配るだけ、ということ。通級指導教室は全校に設置されているわけではなく、小学校では12校（13学級）/44校、中学校では2校/19校です。来年度全学校に通級指導教室を設置するよう努力するとは言われているが……。

「ともに学び ともに育つ」理念には変わりないので……とも。

もちろん枚教組執行部もすぐに対応、市教委に申し入れを行いました。

3年振りの枚教組定期大会においても、「新しい支援教育の方針」に対して活発な発言がありました。

私たちは大阪の「ともに学び ともに育つ」教育、映画「みんなの学校 大空小学校」に代表される大阪の教育のあり方を誇りにしていました。私の教員としての信条もそこにありました。それは今も変わりません。「みんなちがって みんないい！」

支援学校を選ばず地域の学校にあたりまえに入学し、地域で生きることを大切にしてきた保護者や子どもたちです。通常学級での時間が多くて当たり前です。支援学級の時数を半分以上にすることは、学校内に支援学校ができ、子どもたちを分断することになります。「ともに学び ともに育つ」の理念は変わらない、なんてどんな思考回路で言えるのか、理解ができません。

不安を抱えた保護者の方たちから、それぞれ市議会議員にメール等で相談がありました。

どの会派からも立ち位置は少々異なりますが、一般質問で取り上げられました。

連合市民の会では、私がすべてを引き受け、一般質問を行うことになりました。

この間、保護者等からの多くの質問を市教委は受けていました。その回答は、対応する人によって、また日によって異なり変化していきました。支援学級での授業時数以外についてはもともと不十分な内容であり、学校現場に混乱を招いたあまりにも乱暴なやり方でした。このことに関しては、議場で尾川教育長は謝罪しました。

4月に赴任したばかりの尾川教育長には、枚方市の教育現場も子どもたちの姿もちゃんと見えていないのだろう、と思います。ただ、「支援学級での授業時数を増やすだけ」と簡単に考え、保護者等への影響に対しても安易に考えていた教育委員会、そして、教育長に意見もできない教育委員会にがっかりしています。子どもを真ん中にした枚方の教育であってほしいと、強く願いがんばります。

「ともに学び ともに育つ」インクルーシブ教育とは、をこれからも質していきます。

7月28日、連合市民の会として、市長・教育長に要望書を提出しました。



支援教育申し入れ

ちょこっと映画の話

「教育と愛国」

戦前にあと戻りしてしまうという危機感を強く持ちました。

「教え子を再び戦場に送らない！」
このスローガンを改めて声高に……

「破戒」

とても良い作品です。部落差別のこともそうですが、教員丑松の子どもたちへの姿勢が、今に通じるのです。子どもたちを「～さん」と呼ぶ、丁寧な言葉で話す。最後は、教育の大切さを強調し、より良い未来を感じることができました。

「ゆめパのじかん」

川崎市子どもゆめパークで自由に遊ぶ子どもたちの笑顔がすてきです。

8月に何本映画を観ることができるか……カレンダーとにらめっこです。

